



坂の多い町で笑顔あふれる移動販売！

地域の特徴

- 人口：15,593人(65歳以上:4,383人)
- 世帯数：7,028世帯
- 高齢化率：28.1%
- 地域特性：坂が多い住宅街

美和台校区は東区の北側に位置し、新宮町に隣接している、昭和40年代から開発がすすめられた戸建て中心の住宅地で、校区全体が丘陵地となっています。高齢化率が高い一方で新しく転居してきた子育て世代も多く、また地域活動が盛んで、ひとり暮らしの方へのふれあいランチや高齢者サロン、子育てサロン、地域カフェの運営等に力を入れています。

買い物先の環境

校区内に鉄道やバス路線はあるものの、標高差が大きく、駅やバス停までの行き来が大変と感じる方が多いようです。買い物先については、校区の西側の三苦駅近く、東側の福工大前駅近く、南側の病院の近くにスーパーマーケットがあります。しかし、いずれも標高の低い位置にあり、長い坂道が続くため、距離が近くても実際に歩いて行くことは大変という声が聞かれます。標高差の大きい地域を中心に、買い物に困っている人が多いと想定される校区です。

買い物支援の概要

- 実施主体 美和台校区自治協議会
- 協力事業者 ①筑前のかたや ②大輝
- 実施曜日・時間 ①毎週木曜 10:30~15:30
②毎週金曜 12:00~14:30
- 取扱品目 ①青果、菓子など
②青果、精肉、鮮魚、日用品など
- 実施場所 ①校区内10カ所 ②校区内5カ所
- 新型コロナ対策 消毒液設置、マスク着用、対人距離の確保



お家の近くにお店が！



新鮮な野菜がたくさん♪



地域のボランティアも立ち会います



豊富な品ぞろえ

取組みの経緯

1 事業者向け説明会の実施

買い物支援を始めるにあたり、より多くの事業者に協力してもらうため、福岡市に登録している買い物支援の協力事業者（福岡100PARTNERS ※P24参照）や、普段から地域とつながりのある近隣の事業

者のうち、移動販売事業者や送迎車両を持つ事業者などに案内し、説明会を行いました。当日は6社が参加し、各事業者のできることを聞き取って、地域と事業者が協働した買い物支援のイメージを共有しました。その結果、筑前のかたやと大輝の協力を得て、移動販売を行うことになりました。



説明会の様子

<工夫点>

- 普段から地域とつながりのある事業者にも声をかけ、説明会を開催した。
- 各事業者のできることを聞き取り、地域と事業者の協働のイメージを考えた。

2 各町内に駐車場所の候補地をヒアリング→駐車場所を下見

移動販売を行うために、駐車場所を決める必要があります。そこで、特に買い物に困っていると思われる町内の町内会長や民生委員などにヒアリングを行いました。地図を見ながら、「あの辺りは困っている人が多いよ」「ここは道が狭いから車を止められないね」と意見交換を行い、駐車場所の候補を絞っていきました。

また、個人宅の駐車場やその前の道路、民間の駐車場を駐車場所とする場合は、地域が住人や管理者と交渉し、了承を得ました。さらに、駐車場所間の移動にかかる時間も確認し、ルートを確認していきました。

その後、地域が事業者と同行して、道案内を行いながらヒアリングで選定した候補地の下見を行いました。地域と事業者で「この場所は止めやすいね」「ここは対向車が通れないから無理だよ」などと意見を交わしあいながら、駐車場所を決定していきました。

様々な駐車場所のうち、特に道路上に停車する際に注意したことを下記にまとめています。

<<道路上に停車する際の注意事項>>

- 交通法規を遵守し、駐車禁止の場所には停めないこと
- 車両の通行の妨げにならないこと（移動販売車は横に屋根を広げる場合があるため、それも考慮）
- 利用者の安全が確保できること



下見の様子

<工夫点>

- 町内の住民の普段の買い物状況や地理を把握している町内会長や民生委員に、地図を見ながら駐車場所候補のヒアリングを行った。
- 地域と事業者で下見を行い、駐車場所の確認を行った。
- 個人宅の駐車場やその前の道路、民間の駐車場を利用する場合は、地域が交渉し了承を得た。

3 実施日時・頻度の決定、広報

決定したルートをもとに、移動販売の実施日時を決めました。1カ所あたりの販売時間に20分程度、片付けや移動に10分程度かかると想定し、駐車場所ごとに30分の時間配分を行いました。販売時間の周知にあたっては、「〇〇時頃」と幅を持たせ、利用者数の状況に応じて臨機応変に対応しやすくしました。実施頻度は事業者と話し合い、2事業者とも週1回としました。

広報は、校区内全ての販売場所や時間を記載したチラシ（校区社協だより臨時号※P25参照）の全戸配布に加え、販売場所がある町内には、その町内でのみの販売場所と時間を記載した町内専用のチラシ（右記参照）を配布しました。また、自治協だよりへの掲載や、地域の各会議の場でも周知を行いました。その他、各駐車場所に販売時間と業者名を記載したチラシをラミネートし、掲示しました。個人宅前が駐車場所のところは、住人へ了承を得て、道路に面した柵などに掲示させていただきました。

<工夫点>

- 販売時間に幅を持たせ周知することで、柔軟な対応が可能になった。
- 地域全体向けや駐車場所周辺向けなど様々なチラシの配布・掲示に加え、地域の広報紙への掲載、地域内の各会議での周知など、重層的に広報を行った。



4 取組み開始、見守りや交流の場への展開

開始直後は事業者がまだ完全にルートを覚えていないため、地域団体役員が移動販売車に同乗し案内しました。また、安心して利用してもらうため、各駐車場所に地域団体役員や民生委員等が立ち会い、利用者への見守りや声かけを行いました。販売場所では「野菜が新鮮やね〜!」「あんだ元気やったね!」「久しぶり!」など、利用者やボランティア同士での交流が生まれ、終始笑顔あふれる移動販売となっていました。



会話がはずみます

また、各駐車場所の利用者数の推移や売上げ状況等に応じて、場所を変更したこともありました。その際は、それまでの利用者が変更後も利用できるように、できるだけ同じ町内の中から選ぶようにしました。坂の頂上と中腹、麓など、場所によって利用者数や売上げが変動することもあり、試行錯誤しましたが、地域と事業者で話し合い、改善しました。利用者へは変更の都度、周知を行いました。

<工夫点>

- 地域団体役員が移動販売車に同乗し、ルートを案内した。
- 地域の顔なじみの方が立ち会い、声をかけることで、安心して利用でき、駐車場所が見守りや交流の場にもなった。
- 利用者数や売上げの推移を把握し、駐車場所の変更など改善につなげた。
- 駐車場所を変更する際は、なるべく近くから選び、変更の都度、利用者へ周知した。

移動販売実施マップ



5 集会所前



7 個人宅前の道路上



4 個人宅の駐車場

POINT! 美和台校区に学ぶ!移動販売車の取組みのポイント

- 1 地域と事業者で、買い物支援のイメージを十分に話し合い、共有しましょう。
- 2 駐車場所を選ぶ際は、地域の状況を把握している町内会長や民生委員等の意見を聞き、交通法規の遵守や車両の往来、利用者の安全に気を付けて選びましょう。
- 3 地域の方も立ち会い、声をかけることで、安心して利用でき、見守りや交流につながります。
- 4 チラシ等で「販売場所」「時間」を分かりやすく周知しましょう。

関係者の声

美和台中に楽しい買い物を広めていきます

美和台校区は免許を返上した家庭も多く、高低差20m以上の町内が大半の地域です。歩いての買い物が難しいご家庭を支えるため、買い物支援の活動を2事業者の協力を得て始め、利用者の反応も良く順調にスタートしました。解決すべき課題も多くありますが、馴染みのお友達との会話も弾む中で、楽しい買い物の風景が美和台中に広がるよう、自治協が先頭に立ち取り組めます。



美和台校区自治協議会 会長
山下 喜久男さん